

## 東京大学の雑誌購入について | 外国雑誌

<大学図書館における雑誌・電子ジャーナル契約の現状>

第3回 SPARC Japan セミナー 2010  
「図書館の仕事を知る -学術雑誌の購読と利用-」  
2010.08.24

東京大学附属図書館 情報管理課 資料契約係  
金藤 伴成

## 買い物としての外国雑誌

- 何を買うのか
- 誰が買うのか
- どう買うのか

## 何を買うのか

- 外国雑誌販売の粒度
  - 論文(PPV)
  - 雑誌(タイトル)単位、セット単位
  - パッケージ単位
- 刊行媒体
  - 有形の財：印刷体(冊子体)
  - 無形のサービス：オンラインアクセス権

## 誰が買うのか

- 関係者
  - 雑誌を読みたい人
  - 何を買うか決める人
  - 予算の使い方を決める人
  - 契約事務を行う人
- お金のでどころ
  - 冊子体の時代 → 雑誌が欲しい部局
  - 電子ジャーナル → 分担または共通経費

## 媒体による費用負担の違い

- 冊子体
  - 必要とする部局・学科・研究室が負担
  - 応益負担
- 電子ジャーナル
  - サイトライセンス契約により大学全体が応益対象
  - 応益者の不透明化に伴う、費用分担問題

## 資金分担の変化

- ~1990年代後半(ほぼ冊子体のみ)
  - 必要とする部局が予算の範囲内で負担
- 2000年~2003年(電子ジャーナル)
  - 電子ジャーナル導入実験-総長裁量経費
- 2004年~2006年
  - 大手パッケージ費用負担枠組み
- 2007年~2011年
  - 「全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備」
- 2012年~
  - 現在、制度設計中

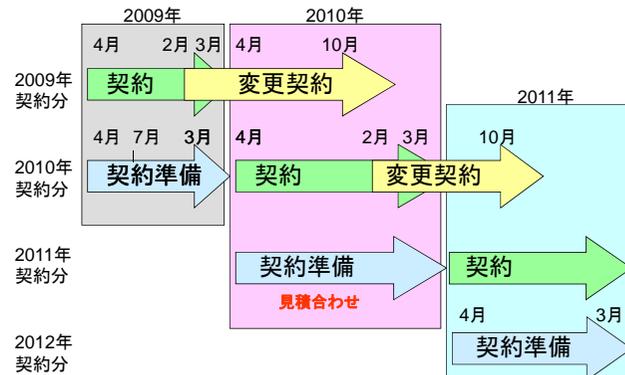
## 全学共通経費

- 目的
  - 基盤的学術情報の安定的確保
- 期間
  - 2007年~2011年の5年間(4年目に一部見直し)
- 対象
  - 和洋学術雑誌、電子ジャーナル、オンラインデータベース、大型コレクション
  - 2010年 外国雑誌:7,400、国内雑誌:3,000  
電子ジャーナルパッケージ:主要10社+a、  
データベース:50
- 選定
  - 対象の選定は図書行政商議会で決定
- 財源
  - 部局拠出金:全学的資金(本部補填)=8.5:3.0

## どう買うのか

- スケジュール
  - 1サイクル=約2年半
- 契約事務の一元化と価格競争
  - 外国雑誌一括購入
  - 見積合せ
- 購入金額に与える影響
  - 値上げ
  - 為替レート
- 支払・精算

## スケジュール



## 外国雑誌一括購入 - 見積合せ

- 目的
  - 経費削減と契約事務の省力化
- 見積合せによる代理店決定
  - 約9,000点を20程度の見積単位(山)に分けて見積もり価格を比較
  - 3年ごとに実施(価格競争と安定的納入のバランスのため)

## 購入金額への影響

- 値上げ
  - 冊子体、電子ジャーナルパッケージともほぼ毎年
- 為替レート
  - 10月前半の為替レートを契約時のレートとして採用
  - 円高なら支払額減、円安なら支払額増

## まとめ

- 購入対象は冊子体から電子ジャーナルへの移行が続いている。ただし、冊子体の需要はなくなっていない
- 財源は学内で共通化される方向にあるが、費用分担方法は議論が続いている
- 代理店への見積合せ、コンソーシアムによる価格交渉で購入金額の圧縮努力をしている。一方で、安定納入も必要